

第11回神奈川支部学術集会

当番世話人：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
副院長・循環器内科教授 武者春樹



会場風景

2012年3月10日(土)、第11回神奈川支部学術集会を横浜市中区のワークピア横浜において開催しました。当日は、あいにくの天候にもかかわらず302名の方にご参加いただきました。

メインテーマを「検証から生まれる、明日のあり方ー良き医療を展開するためにー」として、特別講演、パネルディスカッション、一般演題(口演、ポスター)、クリティカルパス展示、ランチョンセミナーを行い、総演題数は91題となりました。特別講演では、日経メディカル編集部 北澤京子先生に「編集者の視点からの医療マネジメント」のご講演をいただき、また今回設定した特別企画では「災害と医療マネジメント」というテーマで震災関連の発表を集中的に討議する場となりました。

多数の方々のご参加をいただき活発な討論が交わされ、有意義な学術集会を開催することができました。今回の開催にあたり、ご協力いただきました関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

第14回熊本支部学術集会

学術集会会長：国保水俣市立総合医療センター水俣市病院事業管理者
(院長) 坂本不出夫



会場風景

2012年3月10日(土)、熊本県水俣市の水俣市総合もやい直しセンター「もやい館」において第14回熊本支部学術集会を開催し、216名の参加がありました。

本学術集会のテーマを「地域医療の現状と展望～チーム医療で質の向上を目指す～」とし、一般演題(口演)36題、クリティカルパス展示24題の他、シンポジウム及び特別講演を行いました。

シンポジウムでは、「チーム医療とクリティカルパスの現状と課題」というテーマで、地域医療連携・認知症医療地域連携・医療関連感染予防とチーム医療におけるクリティカルパスの役割と課題について4人のシンポジストから発表がありました。また、特別講演では小西敏郎 NTT 東日本関東病院副院長・外科部長をお招きして、「IT化時代にチーム医療で進める病院の危機管理」という演題で、危機管理に対してのチーム医療体制の確立など、これまでの経験とエピソードを交え軽快にわかりやすくご

講演いただきました。

多数のご参加をいただき、本学術集会を盛会のうちに無事終了することができました。ご指導とご協力いただきました関係各位へ深く感謝申し上げます、開催の報告いたします。

分科会等開催案内

2012年度医療福祉連携講習会

テーマ：医療・福祉分野の連携・調整のエキスパートを養成する

本講習会は、地域の医療及び福祉の円滑な連携の推進に寄与し、質的な向上を図ることによって、限られた医療及び福祉機能の効率化を図り、国民の医療及び福祉に資することを目的として、医療福祉分野の連携・調整のエキスパートを養成するものです。

本講習会の履修は、本学会の医療福祉連携士認定試験の受験資格必須条件となります。

定員に限りがございますので早めに申し込みくださいますよう御案内申し上げます。

(募集要項)

○受講資格

- ・医療福祉連携士を目指す方及び医療福祉連携分野に関心の高い方
- ・日本医療マネジメント学会会員であることを原則としますが、非学会員でも受講できます。

講習(実習を含む)については、全ての受講が原則ですが、受講者の申請により実行委員会の審査を経れば、以下の免除ができます。

- ①医療系の国家資格を有するものは医療系科目
- ②福祉系の国家資格及びこれに準ずる資格(例：臨床心理士等)を有するものは、福祉系科目
- ③大学院において、医療福祉連携に関する課題により修士又は博士の学位を取得し、且つ、テーマが地域医療福祉の連携に関するものであると実行委員会が認めたものは医療系科目又は福祉系科目あるいは両方

＜医療福祉連携士認定試験の受験を希望される方へ＞

- ・学会認定試験ですので、学会の会員であることが必要です。
- ・本講習の履修が必須です。
- ・その他医療福祉連携士認定試験に関する情報は本学会ホームページを参照下さい。

※認定試験の免除科目はありません

○参加費 100,000円(但し、非学会員110,000円)

※参加費の有効期間は2年間です。

※実習、宿泊及び交通に掛かる費用は自己負担です。

(次頁へ)